

Title	ルーズベルト氏時代概観
Sub Title	
Author	小倉, 和市
Publisher	三田学会
Publication year	1909
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.1, No.4 (1909. 5) ,p.521(111)- 537(127)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19090501-0111

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

を捉へんとして居るのだ。
 アンドレエフは其原因を探ねて、遂に自我に到達した。『人の生活』と云ふ作が其れである。彼は人々に臆病なる奴隸的自我の在ることを知つた。幻像も、虚偽も、花も、歌も、苦痛も、恐怖も皆な此の臆病なる自我の所生である。世界も、人類も、天國も、地獄も要するに一心の作用に過ぎない。歴史が人を造るのでなく、人々自から歴史を造つて居るのである。一切萬事人間自身の中に在る。唯だ肉に縛らるゝ靈の奴隸的根性が人を壓迫して居るのである。故にアンドレエフの『饑饉王』は我々に向つて自己に反抗することを頻りに絶叫して居るのである、

四

最後にアンドレエフの作風や描寫の方法に就て少し述べやう。アンドレエフの觀察は何處までも心理學的で、其描寫は徹頭徹尾病理學的である。其中には随分緻密な解剖が行はれて居て、非常に深刻な感じがする。アンドレエフの態度は、譬へ

ば巧みな外科醫の態度である。外科醫が病人の肉體を切開する時には鋭い解剖刀をグイと病體に切り込んで種々隠れた微細な神経や、目に觸れない複雑な細胞の痛みを探ねる。アンドレエフも之と同じ行方で、其人物の内面生活を細かに觀察する爲には矢張此の大手術を行つて居る。例へば前に示した『七死刑物語』の如き、七人の人物の死刑前に於ける心理状態を觀察し、解剖せんが爲に、彼は此の七人の革命黨員を同時に断頭臺の上に擧げて居る。尤も、此の方法はアンドレエフに依りて始められたと云ふ譯ではない。死の恐怖、死の痛苦は既に是迄も幾度か人心の謎を解かんとした多くの心理學者等に依りて試みられた事である。露國文學に於ても、西歐文學に於ても、吾人は既に死の淵に臨める人の心理を辿らんとした多くの計畫の有つた事を知つて居る。例へばドストエフスキイの如きは、吾人に斯かる恐るべき境遇に在る人の心理を示した一人である。雖然、其所に差別がある。ドストエフスキイや其他の人々は實際自

から死の恐怖を経験して、其れを深刻に、物凄く傳へては居るが唯だ其れ丈だ。其れ以上には何等新らしき、隠れたる、未だ知れない別種の恐怖と云ふものは感ぜられない。所が、アンドレエフの作物を讀むと、全く新しい恐怖が感ぜられる。以前認めなかつた深淵が大きな口を開いて居る。其迄全く豫期しなかつた不意の心持が浮んで來る。加之に、印象の力が極めて強く、鋭く、深く、鮮やかであるから、讀みながら氣が變になる。人に依ては全く狂氣にならないとも限らない。
 夫故にアンドレエフを讀むには重病人の肉體を切開する氣で讀まなければならぬ。差當り先づ同情感とか、興奮性とか、刺激性とか云つたやうな感じ易い性能を悉皆無くした上で掛らなければ餘程危険である。作中人物の痛苦、悲哀、恐怖、戦慄と云ふやうな凄味ある心状態を客觀的に觀照しやうとするには、何うしても自分に於て豫め純生理的作用を殺すか、鈍くするか、何つちかしなければ、仕舞には自分か作物に囚はれて了つて、み

すゝ恐怖の犠牲とならなければならぬこととなる。アンドレエフを讀むのに大なる克己を要すると云ふのは則ち此の謂である。(完)

ルーズベルト氏時代概観

小 倉 和 市

緒 論

去三月の初旬を以てルーズベルト氏は白宮を去れり。爾來合衆國の評論界は舉て氏が合衆國の進歩發達に貢獻せる所の偉大なるを承認し其偉功を賞揚せざるはなし。實に氏が米國行政長官の地位に於ける活躍の歴史は一方に於て氏が有する類例なき人格の發現を示して所謂懦夫をして起たしむる概あると同時に、他方に於ては合衆國の近時政治史の小寫として同國最近の急速なる發展を吾人に會得せしむるに足るものがあるが故に予は米國評論の評論が報ずる所により左に其一斑を紹介せ

ん。
七年有半に涉れるルーズベルト氏の統治時代を概観して其治蹟を略敘せんとするに先ち、吾人は氏の執政中眞に氏が活動の自由を有せしは唯後半四年の短期間なることを注意せざる可からず。他の一半は他人の政策を踏襲遂行せるものにして「軟化ルーズベルト時代」又は「ルーズベルトの人格を以て覆ふはれたるマッキンレー時代」とも稱す可きものなりとす。

行政長官の死によりて副大統領の地位より大統領となれる者にして次期の總選舉に於て再び大統領として選舉せられたる者蓋ルーズベルト氏を以て嚆矢となす。他人の政策を繼承し苦難四周の間に立ちて之を満足に遂行するは殆んど不可能なるもの如く、斯かる境遇にありて其任期を終れる者は到底再び大統領たることを得可き望なしとは自明の眞理の如く看做されたり。氏は斯かる歴史的の事實を其念頭に置けるのみならず能く自己とマッキンレー氏との間に存する人格上の重大なる

差異を知れり。故に氏は其任期の始より順境に立つも誇らず、國民の信頼を得たりと知るも驕らず。唯小心翼翼として前任者の遺策を誤らざらんことを維れ勉むるに餘念なかりしは實に止むを得ざりしなり。蓋氏が偶然の事實によりてマッキンレー氏の跡を襲ひたる結果、其地位上自然の必要に迫られ、前半の時代に於ては忌憚なく其本職を發揮すること能はずして大に掣肘せらるゝ所ありしは單に氏自身に取りてのみならず、又實に合衆國に取りて大なる幸福なりしなり。之が爲めに氏は其地位の重大なるを感知し、其權力運用の如何を學び、其配下統治機關の性質を研究し得たるのみならず、更に進んで國民の精神を洞察し、將來採用せざる可からざることを知るも然かも尙之が爲めには幾多の經驗と研究とを重ねたる後に非ざれば實行するを得ずと信ずる政策に對し、彼等が如何なる意嚮を有するかを容易に判定するの機を得たり。斯の如き境遇に立ちて氏はマッキンレー氏の施政方針を踏襲せざる可からざることを知れり。國民は

マッキンレー氏の政策を嘉納して再び氏を大統領の地位に擧げたり。ルーズベルト氏は自己の黨興が國民より受けたる信頼を空ふせざらんが爲め其行動の前任者と異身同體なるか如くならんとを期し。之が爲めには時に甚しく疲憊を感ぜしとありしならんも、而かも不撓不屈の精神を以て之れに耐へたり。後半四年間獨立自在に活動せる氏と、前半の行政長官たる氏とを對照するときは何人と雖も氏が克己堅忍の美德を具有するを認めざるを得ざるなり。其マッキンレー内閣を繼承するや氏は圓滑自然に其職務を遂行して毫も扞格衝突の痕なく恰かも無形のマッキンレー氏が依然行政長官の地位に止まれるか如きものありき。而かも氏は其忍耐、誠實、細心の報償として空前の票數を以て自己の權利として此名譽ある地位に推舉せらるゝに至るや縦横無盡に其辣腕を振ひ任期の終末に於ては實に舉國の信頼を其双肩に擔ひ國民は三度氏を推さんとして止まず。茲に於て氏は遂に其黨興と國民とに向ひ米國憲政の爲め寧ろ新な

る後任者を選定するの得策なることを勸告するの止むを得ざるに至れり。
今一例を擧げて氏が其前半に於て自己の權域を脱せざらんが爲め如何に焦慮せしかを示さん。マッキンレー氏はハッパフハローに於ける最後の演説に於て關稅改革の新計畫を發表し、今や排外政策の時期は過ぎ去りたりと公言し、其關稅改革の宣言に於て氏が第二の統治期間に於て採らんとする政策の骨子を公にせり。之れ實に驚く可く進歩したる思想にしてルーズベルト氏が私人として抱懐せる主義と一致せるものなりき。然るにマッキンレー氏逝きてルーズベルト氏が之を襲くに當てや氏は輕々しく改革の大事業を企て、誤て先任者の所期に背反するの結果を生ぜんことを恐れ、自己の所信と一致せる政策なるにも拘らず之が實行を中止したり。マッキンレー氏にして不幸毒手に斃れざりしならんには合衆國今日の重要問題なる關稅改革は久しき以前に於て遂行せられたりしならんとは衆人の信ずる所なり。

賢明なる内政

斯くて關稅改革の事業は中止せられたりと雖も、ルーズベルト氏は國民の一般状態を改善せんが爲め、驚く可く他方面にして且つ深遠なる結果を生ず可き事業に着手せり。即ち氏は國民を指導して彼等をして特に社會上及經濟上の問題に關し空前の注意を拂はしむるに至れり。之れ氏が國家に對する第一着の功勞なりとす。氏は諸種の問題に觸る毎に之を利用して國民の腐敗を清め其公徳心を發達せしめんと試み、當時未だ世人の注意する所とならざりし實業社會の道德標準に關して國民を覺醒せり。氏は曩に一市民として既に此運動を開始し鼓舞勸告訓諭等有らゆる方法に訴へたるが、其行政長官たるに及びても尙此運動を繼續せり。氏は先づ實業界の革新を目的とする十字軍の要を主張し、而して後自ら武裝して此十字軍の陣頭に立てり。氏が社會の改善者又は實業道德の推進者としての勢力は其公職を去るの後と雖も依然として一世を指導するの力ある可きは疑なき所なり。

り。氏は從來世人が嚴格なる一般道德の標準を以て實業道德を律せんとするは酷なりとせる謬見を駁し、世人をして道德律は自然の大法にして何者と雖も其判定を免がれ得可きものに非ざることを感知せしめ、實業と良心とは全く無關係なりとの斷定をなすに先ち須らく熟考す可きものあることを了解せしめたり。換言すれば氏は實業なるものとして公徳と稱する法廷に立たしめ、從來よりも一層嚴密なる責任を負はしむるに至りき。氏の他の方面に於ける行動に關しては如何なる批評を受くるにもせよ、此道德振興運動の先導者たりし事實は心ある市民の稱賛に價す可き者なるは如何に氏を酷評する者と雖も否認すると能はざる所なり。一方に於て氏は斯く一般實業道德の振興を計ると同時に他方に於て國家と其附帶產物なる會社との關係を適度ならしむる點に付き國民の注意を喚起せり。即ち氏は國家の權力によるも續々發生する會社をして到底自己の理想の如きものならしむると能はざる可きを見るや、會社の經營に對し嚴

密なる監督掣肘を加ふるの方法を講ぜり。從來國家は會社が其欲する所に從ひて獲利の方法を講ずるを看過し、若し會社の所爲に關し政府に對し批難攻撃をなす者あらば、政府は冷然として其自己の責任に非ざることを辯明し、社會も亦其辯疏を承認して之を以て到底救済の方法なきものとなせり。此點に於ても氏は大改革を行へり。曰く「會社と雖も決して道德上の義務を免がれ得可きものに非ず。國家も亦自己が生める者の行動に付き其責を免かる可きものに非ず」と。今日に於ては國家は最早超然たることなく、其會社局を指揮して會社に關する事實を蒐集せしめ之を州際商業委員の研究に附し、苟くも不正の疑ある者に對しては訴訟を提起せしむ。今や社會は政府が其生める者に關する責任を負擔し、犯行者に對して國權の制裁を附するの至當にして且つ希望す可きものなるを認むるに至れり。

政府が斯かる責任を負擔するに至りし事實は却て眞實奉公の念を以て國務に従事せんとする者を奮

起せしめ彼等をして進んで身を政界に投し親ら政局に當らんとを希はしむるに至れり。茲に於て人材登用の途は開けたり。而して政府は其推唱せる革新運動に具體的の援助を與ふるとを吝まず。氏は其私人的及政治的勢力を利用して或は紐育に於てヒュース氏の政策を援助し、或は桑港に於てヘンリーを支持し、或はピッツバーグ醜聞事件を探查して之を懲罰せる等至らざる所なかりき。實に政府は其職務の範圍を嚴守しつゝ、公徳の破壊者を追窮し、一方に於て法網を免がれんとする資本の大家同を告發すると同時に他方に於ては之と同一の態度を以て勞働の合同を注視せり。氏は嘗て人に語て曰く「予は富者なるが故に之を征誅せんとする者を惡むと同時に、勞働者なるが故に之を曲庇せんとする者をも亦惡まざるを得ず。予は富者と勞働者とを問はず責む可き理由ある場合に之を責めざるの士人を信任すると能はず」と。氏の對不正會社政策が愈其歩を進むるに従ひて多少の異議物情あるを免かれざりき。嘗て檢事總長

が非ツラスト法違反の嫌疑を以て一大會社を解散せしむるの訴訟を提起するや、世は舉て驚駭震慄せり。同會社の最大後援者の一人は之に抗議せんが爲め華盛頓に急行して氏面晤して責めて曰く。「予は貴下か此訴訟を提起せらるゝに先ち一言予に通告するの勞を取られざりしを惜む」と。氏は冷然答て曰く「之れ國務執行の常規なり。予は如何なる場合に於ても此常規に對して例外的行爲をなすと能はず」と。同資本家は更に答て曰く「然らば他に之を處置するの便法なかる可きや」と。氏は客の執着なるに耐へ兼ね反問して曰く「貴下の所謂便法とは如何なることを意味せらるゝや」と。客答て曰く「予は辯護士を檢事總長の許に派し訴訟に依ることなくして本問題を解決する能はざる可きか」氏曰く「之れ全く不可能なり。同伴は既に法廷に提起せられたれば今や其判決を待つの外なし」と。斯くて同事件は法廷に於て正々堂々の争を経たる後全然政府の勝利に歸せり。此勝利は政府に取りて最も重要なものにして、政府は之

によりて其宿望たる資本の大合同に對する監督權を確立せり。
ルーズベルト時代の初期に當りて最も著しきは、氏が非ツラスト法の適用により資本合同の傾向を防止せんが爲め大會社に對し續々斷乎たる攻撃を加へたるの現象なりとす。左れど後年に及びて斯かる攻撃は漸次減退せり。之れ行政上に於ける最も顯著なる進歩を示すものなり。氏は事物の性質上資本合同の免かる可からざるの事象なるを看破し、防止政策は望ましくも到底行ふ可からざることを會得するや、之に代ふるに會社に對する政府の監督權の確立を以てし、斯かる合同を破壊することなくして之を改善せんと試むるに至れり。此方針を以て氏は「市民同盟」と協力しシャーマン法を改正して一層有效なるものとなさんと試みたり。其効果は未だ見るべきものなしと雖も之が爲め一般社會は日々益々該問題の研究に其視點を集中するに至れり。
今岐路に入るとを厭はず一言氏の私行に説及せん

か其所行中小説的なるものも亦少なからず。而して其小説的なるものこそ氏が立法上及び行政上に於ける刻苦經營の跡よりも却て吾人に深厚なる印象を與ふると多し。氏が如何に奇警にして衆人の意表外に出づる行動あるかは近頃四人の學生を引見し「予が統治時代中最大の治蹟は何ぞや」との問題を提起し其答案を求めたるによりても知るとを得可し。然り而して之等學生の主張は分れて相争へり。甲曰く「公德の振興」。乙曰く「日露間の平和恢復」。丙曰く「天然財源の保存」。丁曰く「會社團體の専横防遏」と此争論を調停しつゝ他の傍觀者は次の諸項を加へたり。(一)パナマ運河の買収及び其竣工せらるべき保障。(二)合衆國をして世界に於ける一等國の伍列に入らしめ、且つ之に伴ふ責任の負擔能力を證明するが爲め戰艦隊を以て世界を週航せしむるの計畫を立てしと。(三)羅典亞米利加諸國をして合衆國の好意を了解し之に信頼するの念を生ぜしめ。延いて南北及中部亞米利加の關係を改善し、亞米利加の前途に一新紀

元を劃せしと。(四)石炭探掘者の同盟罷工を調停せしと。
何ぞ知らん、斯から無邪氣なる雜談ありし當日、其主人公たりし氏は、陸軍士官の乗程を三日間九十哩と規定するの決して不合理にも不當にも非ざるとを證明せんが爲め一百八哩の遠乗の途にありしなり。翌日午前氏は其特得の教書を上院に送り午後は大學生の代表者を引見して其清楚勇敢なる遊技を稱讚せり。
今眼を合衆國の陸軍組織に轉ぜんか、此點に於ても氏は亦其比類なき建設力を顯はせり。
西米戰役の教訓によりて參謀本部を設置するの必要を感ずるや氏は直ちに之が實行に着手し、之に關する法案は千九百〇三年二月十四日を以て議會を通過し同年五月を以て之を實行せり。實に氏は參謀本部設置運動の開祖にして、實際に其制度を編纂したる者はルート氏なり。法令によりて野砲と要塞砲とを區別し、之に従事する將校を分科して其各特長を發揮せしめたる結果、戰闘員の技術

及武装は著しく改良せられ、砲の攻撃力は従前に倍加せり。歩騎兩兵科は既に増員せられたれば今回更に築城部及臼砲部の増員を行へり。加之軍醫部の組織を改めて之を擴張し、一般醫師によりて一の豫備醫團を組織し一旦緩急あらば直ちに之を召集し得可きものとなせり。固より其役務は任意的のものなれども國難に際しては彼等か奮然身を提して事に當る可きは疑なき所なり。陸軍行政中最も必要なる事項は小部隊分在の制度を棄て、各地方の中心とも見る可き地點に大部隊を駐屯せしむるの組織となしたるとなりとす。之が爲め大部隊の教練を可能ならしめたるのみならず、驚く可く發達せる運輸交通機關の便により、必要に應じて何れの地點へなりとも有效なる兵力を輸送し得ることなれり。加之俸給制度の改正を行ひ中將及少將を除き他の一切の將校に對し年々五百弗宛の増俸を與へ、且つ現役者は固より休職將校に對しても夫々進級制度を樹て、之を獎勵し、老功なる將校に再役の希望を起さしめ、以て

一般に物質的及精神的の訓練を進めたり。其他武器軍裝の點に於ても大改良を加へ、彼の新スプリングフィールド銃の如きは歩兵の武器として世界無比と稱せらる。増給の寛典は兵卒にも及び、法律によりて各州の民兵を正規兵となしたるが爲め困難に際しては單に軍資金の調達さへ整へば毫も立法上の手續を経る必要なくして直ちに第二國防線を組織するを得るに至れり。加之義勇兵より成立せる第三國防線を組織するの計畫あるが故に絶世の大戦に際しては軍令一度發せらるれば二百萬の猛卒は立所に戦闘の野に雲集するなり。ルーズベルト氏の刻苦經營によりて合衆國の海軍は陸軍に比して更に一段の進歩をなせり。氏の在職中海軍力は名義上に於ては單に倍加せりと云ふに止まるも、其組織は改良せられ、砲術の教練は絶へず行はれ、且つ世界週航によりて無比の經驗を得たれば其實際の戦闘力は單に倍加のみに止まらざるなり。今や合衆國の海軍は世界海軍中第二

位に進めり。然かも斯かる状態に達せしめんが爲めには氏は上下兩院に對し絶へず奮闘せざるを得ざりき。一年以前氏は四隻の大戦闘艦建造の計畫を提議して其二を得且つ爾今年々二隻を建造し得るの權利を得たり。本年も亦氏は四隻を請求して其二を得たるのみ。左れど之等新計畫の戦闘艦は合衆國が有する既成軍艦中其比を見ず。噸數遠力及戦闘力の點に於て世界に於ける最新艦に比し毫も遜色なしと云ふ。其排水量は二萬六千噸に上り、備附主砲は實に十四吋砲なる可きが故に過去の十二吋砲に比して其效力遙かに偉大なるものあり。斯の如く各單位の戦闘力の増加は海軍の専門眼より見るときは單に艦數の増加よりも寧ろ喜ぶ可きとなりとす。斯かる進歩は實に合衆國が今後絶へず列國海軍中の優勢の地位を維持せんとするの意あるとを世界に公言するに等しきものなり。況んや列國は既に合衆國艦隊の世界週航を以て兩洋海岸の安固を期せんとする「二洋海軍政策」確立の端緒なりとなすに於てをや。

氏の統治時代中二隻の戦闘艦は政府の造船所に於て建造せられたり。之れ第一級戦闘艦一隻の建造を常に政府の直接事業たらしめんとする政策の樹立なりとす。加之海軍の將卒に對しても陸軍に於けると等しく著しき増俸を行へり。又インディアナ、ヘッドに火薬製造所を設立せるが、同所は從來私人事業によりて製造せられたる一封度六十七仙の火薬と同質のものを四十五仙を以て製出すると云ふ。此製造所は將來大に擴張せられ合衆國の全海軍が要する火薬の三分の二を産出するに至らしむ可き豫定なり。政府は又水雷艇建造所をニューポートに設け、アンナポリスに於ける兵學校を擴張して著しく其生徒數を増せり吾人は同時にミンカン湖畔に湖水艦隊練習所の建設ありしとを記憶せざる可からず。海軍の行政々策中最も著しきは政府が海軍の組織及び軍艦の建造に關し一般民衆の評論を抑壓することなく却て之を獎勵するに至りし事實にして、氏は合衆國の海軍が諸種の方面に於て不完全なる

を見て一般公衆が寧ろ此弱點を會得するに至らんとを冀ひしなり。氏は他く迄も海軍々令部設立の目的を達せんとし、其任期の終りに近づき海軍省及民間の専門家より成る一の任意特別委員會を組織して海軍行政問題の全部を調査せしめ海防上最も必要な諸點を報告せしむるとなせり。其報告中巨艦の航海力及戰鬥力に關し激烈なる批評ありしかば、海軍省は之に基きて艦型其他細微の點に付き變更を加へたりしが、艦隊の世界週航によりて之等戰鬥艦の効力は明らかに證明せられたり。次に行政費の増加に就きて一言せんか、ルーゾベルト時代に於ては軍備の擴張、要塞の修築、營造物の經營、郵便制度の普及、河川港灣の設備、開墾事業の進歩等政府の施設従前に比して數倍の増加をなせるが故に行政の經費も亦從て増加し、本年の歳出は實に一、〇〇八、三九七、四五二弗五六仙の巨額に達せり。斯く歳出の驚く可く増加せるにも知らず國庫は年々剩餘金の増加を見。唯千九百〇七年の恐慌によりて多少の缺陷を來すに至り

しのみなりと云ふ。

千九百〇七年の銀行界の恐慌は行政部に對して諸種の難問題を興へ、其結果アンドリッチ、ブリーランド通貨法の通過を見るに至れり。同法は急迫の場合に於ける通貨の發行方法を規定し、貨幣制度を一層伸縮自在なるものとなさんとを目的とせる一の非常救濟方案にして、其效果の如何は同法の下に一弗の通貨さへ發行せられざりしとのとによりて知るとを得可し。即ち急迫の場合には斯法によりて通貨を發行するを得可しとの保障によりて斯かる發行をば必要とする状態は救はれたるなり。今や法律によりて貨幣委員會は組織せられ、同委員會は貨幣制度及銀行制度の改革に日夜盡瘁しつゝあるなり。

ルーゾベルト氏の國內政策中天然富源の保存運動の如き又吾人の注意せざる可からざる所なりとす。公有地面にして私人の爲に濫壞せらるゝ者少なからず。而かも此暴狀は鑛物木材に富める地に於て殊に甚しとす。氏は斯かる行爲ある者に對し

ては會釋なく訴訟を提起せしめ、之が爲所罰せられたる者も少なからず。甚しきに至つては政府の高官にして斯かる訴を受けたる者ありと云ふ。斯くて政府は斷乎たる政策に出で、一方に於ては或地域に關し或は政府の直轄を實行し或は私人既得の權利を剝奪し又或は侵入を禁止すると同時に、他方に於ては當局官憲を督勵して該地域内の富源を監督せしめ以て今後の濫壞を防止せんとす。

氏は國內の森林が日々減退し石炭の消費額愈大なるを見るや各州知事を召集して所謂「富源保存會議」を開催せり。同會議の目的は自然富源の保存及回復を實行せんとするにあり。更に進んで氏は此事業を全米大陸に及ぼさんとし加奈陀、墨國、及び合衆國の代表者を會合せしめたり。此運動と同時に之と密接に關聯して氏は水路による運輸方法改善の企を起し以て運輸費の輕減を計らんとせり。任期の終りに迫りて氏は上院に指示するに一例を以てし、ツラストの如き一個の團體ありて國內の水力を制御專占し、將來に於ては國權をも左

右するに足る可き一大勢力を形成せんとを企圖せるものなるを明らかにせり。議會は不謹慎にも斯かる團體を政府の監督より免がれしめんとする法案を通過せしも、氏は之が裁可を拒み、遂に上院をして水力の使用に對し政府に有效なる監督權を附與するの法案を可決せざる可からざるに至らしめたり。

ルーゾベルト統治時代に於ける政府の内政上の新活動として附加す可きは「通商労働省」の新設及び農務省の擴張なりとす。農務省は以前に於ては微々たる一小機關に過ぎざりしも一躍して今や實際の價值を有する堂々たる一省となれり。同省は土地に關する科學的研究を重ね、合衆國に於て栽培に適當するが如き雑多の植物を世界の各方面より蒐集せるのみならず、耕耘の術を改良し、動植物の増殖發育等に關する細密なる検査を施行し、遂に各省間に大勢力を占むるに至れり。其食品精選法及び肉類検査法の勵行の如きは實に感服するに足るものありと云ふ。

通商労働者は近世産業社會の特色なる資本又は労働の大合同に對し政府が充分なる監督權を行使するの機關として設けられたるものにして、其下に會社局ありて會社に關する諸種の報道を蒐集するの使命を有す。設立以來日尙淺しと雖も着々として諸種の調査を重ね、既に其結果として國家に實益を興へたるもの少なからず。驛遞省は大に其業務を擴張し地方無料配達を普及せしめたるが爲め、從來郵便物の配達を受けんが爲めには數哩の遠きに行かざる可からざりし者も今や座ながらにして其配達を受くるとなれり。合衆國は既に國際條約を締結して數國との間に二仙郵便制度を立てたるが、此制度は條約の締結せらるゝに従ひ他の諸國に及ぶ可し。氏は又郵便貯金及小包郵便の業務を其所管に移さんとする驛遞省の提案に對し熱心なる後援者なり。

ヘッパーン法及び非戻稅法の通過によりて州際商業委員の權力は大に擴張せられ、料金の高低を監督し收支の計算及一般財政状態の公表を強制

するの權を政府に附與するの主義は今や確立せられ、州際運輸業者は一定の計算方法及び公表形式を遵守せざる可からざるとなれり。氏は更に之等の方面に大に其監督制御の歩を進めんとする者なり。

彼の石炭採掘者の同盟罷工を終熄せしめたるは主として氏の私人的の企圖なりしも此問題によりて資本對労働の紛争によりて最も痛切なる利害を感ずるものは社會なるが故に斯かる争議は先づ社會公衆の利害より打算して解決せざる可からざるものなると明らかとなりたると同時に、労働紛争の發生を豫防し又は之を終熄せしめんとするには一に關係當事者の誠意互讓に依るの外なしとの原則確立せらるゝに至れり。最近恐慌の初期に際し或鐵道會社は賃銀の低減を提議せしも氏は斷乎として之に反對せり。從來恐慌の場合に最も早く其影響を受くる者は労働者なりしも今回の恐慌に際しては氏の強固なる反對ありし爲め大儲主は何れも賃銀の低減を行はざりしが故に賃銀は一般に其影

響を受けざりき。婦女及び幼年労働者の状態に關しても亦詳密なる研究行はれ、幼年労働者法案は既にコロンビヤ州會を通過し他の諸州も亦之に倣はんとす。聯合備主責任法案及び政府事業に従事中負傷したる者に對する政府責任法案は既に可決せられたれば不幸なる労働者は其救済の途を得るとなれり。

雄大なる外交

歐洲の外交家はルーズベルト氏を以て一種端倪す可からざる怪物なりとなせり。之れ氏が國際問題に關し頗る廣汎なる見解を有することを説明するものなり。氏の國際問題に關せる功業中或は未だ世人の知らざるものあり。或は既に世人の記憶より消へ去らんとすものあり。之れ世人の視點か絶へず氏の最新なる活動に集中せらるればなり。

世人は氏が日露の間に斡旋してポーツマス條約を締結せしめ以て滿洲に於ける戰役を終了せしめたるを知るもモロッコ問題に關して獨佛互に反目し遂に全歐の大戦を誘致せんとするの危機に際し世

界の平和の爲め氏が如何に貢獻する所ありしやを知る者頗る少なし。獨佛各其主張を持して下らず、戦端の開始は單に時間の問題なりと推測せられたるとき氏は合衆國の大統領として關係諸強國の間に斡旋し遂にアルジェシラス會議の開催を可能ならしめたり。合衆國が同會議に其代表者を派遣せんとするや米國人中にすら或は之を以て舊世界の紛争外に超然たる米國年來の主義を拋棄するものもなし反對の意を表する者少なからざりき。左れど同事件は或意味より云へば實に米國の事件にして米國が之に關與せしが爲め世界の平和は維持せられしなり。

吾人は眼を轉して合衆國の羅典亞米和に對する關係如何を見るに、彼の全米會議がリオ、デ、ジャネロに開催せらるゝに當り國務卿ルーズベルト氏を始め最も適任なる代表者を選びて之を派遣せし者はルーズベルト氏となり。南米諸國かモンロー主義を誤解し、之を以て合衆國が他の亞米利加諸國に對して事實上宗主權を行はんとするものなりとな

すや久し。加之、之等の諸國に對する通商は主として歐洲人の掌裡に存するが故に彼等の合衆國に對する感情は決して良好なるものと云ふを得ざりき。左れドルズベルト氏の勤勞は空しからずして機會は熟しルーツ氏と其同僚は満足に其使命を果すを得たり。茲に於て國交關係は改善せられ通商状態は進歩したり。左れど同會議に於て計畫せられたる事業は今尙其端緒に過ぎず。其結果に至ては遠く之を將來に期せざる可からず。

吾人は翻てサンド・トミンゴに對する合衆國の外交を一顧せんに、合衆國は同共和國の財政計畫に關し恰かも後見者たるの地位に立ち、一方に於ては支障なく外債の償却せらる可きを保證すると同時に、他方に於ては革命の再發を防止して其慘禍を繰返さしむ可きを誓へるが故に同共和國の歳入は今や黨争の導火線たる能はざるに至れり。政策の當否は兎も角之によりて南方諸小共和國に對し同様の場合に於て合衆國が財政監督權を行使し得るの先例を開けり。

可し。今や露獨兩國に對しても同條約に關する商議進行中にあるを以て條約完成の日も亦遠きに非ざる可し。

滿洲の戰役終りを告げ東亞の状態が根本的の變動を來すや合衆國は氏の指導の下に清國に於ける門戶開放及び領土保全の大主義に對する新保證を設定するの議を唱へて列國の同意を得たり。最近に至り日米間に横はりし紛争は國務卿ルーツ氏と高平大使との間に於ける覺書の交換によりて其解決を告げたり。一般外交社會は此覺書を以て兩國衝突の機會を最も少なからしめ平和關係の破裂を殆んど不可能ならしむるの効ある最も賢明にして且つ合理的なる協商なりしとせり。

ルーツベルト氏の外交的活動は單に之に止まらずして彼の最近上海に於て開催せられたる國際亞片會議の要を首唱したるものも亦氏に外ならざるなり。亞片賣買を禁止し又は之を制限するの要を始めて呼號したる者は弗立賓のブレント僧正にして國際會議は實にルーツベルト氏の發案なりき。同

國際紛争の平和的處理に關しても合衆國の貢獻せる所は決して少小に非ざるなり。日露戰役か其終を告げ、海牙府に於ける國際的平和運動の眞價が漸く世人の疑ふ所とならんとするや、先づ其聲價回復の企をなせし者は實にルーツベルト氏なり。氏は合衆國の名に於て第二回平和會議の開催を提議し依て以て第一回平和會議の事業を強固にし且つ一層其範圍を擴張せんと企てたり。其後露國皇帝陛下か第一回平和會議の提唱者として更に第二回を召集せんとするの意思あるを表示せらるるや合衆國は其提議を撤回したりしが同會議は遂に露國の提議によりて千九百〇五年を以て開催せられたり。

露佛兩國を除きて他の諸強國とは既に仲裁々判條約を締結し國譽又は國家の重大なる利益に關する問題を除くの外一切紛争問題の解決を海牙の仲裁々判に附す可きとを協定せり。之れ合衆國自身に對する平和の保障たるのみならず同時に他國に對して國際平和維持の好模範を示したるものと云ふ。

會議計畫の公表に先ち米國に於て研究したる結果によれば亞片の害毒は其想像せしよりも遙かに一般的にして且つ強烈なるの證憑顯然たりと云ふ。アージエンタイン及び智利間の風雲穩かならざるや紛争國雙方に對して事局を平穩に解決す可きとを勸告し遂に平和の破裂を防止したるものは實にルーツベルト氏なり。其後ブラジル及びアージエンタインカウルガヤ問題に關し將に砲火の中に相見へんとするや彼等をして互に國譽を毀損することなく平和的に其係争問題を終局せしめたる者も亦氏なりき。

ルーツベルト氏采配の下に合衆國々務省は加奈太との間に横はれる年來の諸問題——ニューファウンランド漁業紛争。アラスカ海豹事件米加國境異見。ナイヤガラ瀑布の保存利用問題。五大湖の防備及び利用に關する問題を決定せり。

僅々數年以前にありては米獨の關係は危機に陥り、或は遂に開戦の不幸を見るに至らんかとは一

般に想像する所なりしも、氏は獨逸皇帝との間に存する私交關係を利用して先づ私人的接近の機を作り遂に進みて兩國間に最も親密なる國交關係を樹立するに至りき。獨逸に取りて最も大なる不幸の原因たりし合衆國の關稅行政上の施設は適當なる變更を加へられ合衆國に取りて通商上有利なるものとなりたると同時に獨逸の満足する所となりき。

合衆國に在住する猶太人は、露國及びルーマニヤに於ける其同胞の状態を改善せんが爲め之等諸國に對して取りたるルーズベルト氏の斡旋を長く忘却せざる可し。

氏は露國在住猶太人の取扱問題に關し重大なる請願を受くるや、直ちに外交上の徑路を経て露國政府が斯かる請願を嘉納するの意あるや否を問へり。合衆國政府の提出したる此内意知照の外交文書は實に同請願の實質を包羅せるものにして、露國政府は同事件を以て單に一の内國行政問題なりとなし充分の禮讓を守りて同請願の受納を拒絶せ

りと雖も、之によりて良好なる無形の效果を得たるや疑なき所なり。氏は又コンゴ國の状態改善に關しても積極的にして且つ強固なる意見を有したりき。彼のカストローは和蘭政府の干涉政策によりて困難なるヴェネズエラ國首の地位より放逐せられたりと雖も、若し華盛頓政府の默諾徹りせば斯かる結果は得られざりしならん。古倫巴亞及巴那馬の兩國に對する關係も亦頗る満足す可き状態にありて之が爲め地峽運河の開鑿を可能ならしめたり。玖瑪は合衆國の占領平定によりて其内亂を免かれ今や新たに困難なる自治の旅程に上れり。之れ國家が斯かる場合に於て信義を確守す可きの好模範を世界に示したるものと云ふ可し。弗立賓に於ても平和は保證せられ行政制度は改革せられ着々自治の大主義に向て其歩を進めつゝあるなり。彼の團匪事件の結果合衆國に割賦せられたる償金の大部分を返還して清國の感謝を購ひ、將來に於ける同國青年教育の大部分を合衆國の掌裡に收めんとするか如き其遠謀雄圖の存する所蓋

想像に難からざるなり。吾人は合衆國が其艦隊を以て世界週航の壯舉を遂げしめ到る所に其國旗を翻して間接に其國威を發揚せるの效果に就ては茲に敢て贅言を費すの要なきなり。

結 論

ルーズベルト氏の個人的事業中其最も大なるものは日露講和條約に關する盡力も巴那馬運河の買収なりとす。提東に於ける平和の問題は未だ吾人の記憶に新なる所にして氏の私人的活動によりて此空前の大戦役は終局せられしなり。其企圖の雄大にして其措置の勇斷果敢なる、氏に非ざれば到底企及す可からざる所なりとは外交界に於ける評論の一致する所なり。巴那馬運河の買収によりて同地峽に於ける積年の紛争を解決し今や氏の組織せる一大開鑿隊は盛んに此未曾有の大工事に従事しつゝあるなり。竣工の曉には世界人類を裨益すると少小に非ざる可し。

今や氏は行政長官の地位を去れるも氏の遺業は夥しく自宮に止まれり。氏は諸種の問題に就きて公

衆の注意と興味とを喚起せり。而かも之等の問題を解決せんが爲めには合衆國は將來に於ても氏の助力を族たある可からざる可し。任期短にして其完了せる事業は多からざりしと雖も氏は先見の明を以て遠く社稷の前途を洞察し後繼者に向て國家百年の爲め爲さる可からざる事業を指教せり。立法及行政の當局者は將來長く氏の指教せる諸種の問題を解決せんか爲めに奮闘せざる可からざるが故に氏の開始せる所は其偉大なる人格の活動紀念として長く彼等の念頭に止まる可し。(完)

新著批評

氣賀勘重解説

フィリップ・ポヴィツチ氏經濟政策

フィ氏の經濟書は獨逸語の經濟學教科書中最良の評ありて特に其第一卷經濟原論は既に氣賀氏によりて邦語に翻譯せられ學生の寶典たりしが今又第二卷經濟政策の翻譯を見るに至れり。